

行政視察内容報告書

令和3年8月30日

土佐清水市議会
議長 永野 裕夫 様

(提出者) 議会運営委員会委員長
氏名 谷口 佳保



下記のとおり報告します。

項目	<input type="checkbox"/> 現地調査	<input checked="" type="checkbox"/> 行政視察	<input type="checkbox"/> 要請・陳情関係
	<input type="checkbox"/> 研修会への参加	<input type="checkbox"/> 会議への参加	<input type="checkbox"/> その他()
参加者	弘田条・前田晃・浅尾公厚・細川博史・谷口佳保・永野裕夫議長・作田喜秋副議長		
	計 7 人		
期日	令和 3 年 8 月 10 日 ~ 令和 3 年 8 月 10 日		

【概要】(年月日・場所・内容)

日時: 令和3年8月10日(火) 午後2時30分~午後4時

場所: 宿毛市役所 議会委員会室

住所: 宿毛市桜町2-1

近年、各分野でのデジタル化がすすみ、本市の在り方を論議する議会においても、本会議のインターネット配信などが取り入れられている。

しかしながら他市町村ではもう1歩進んだタブレットの導入が実施されている。本市でも他市町村に後れを取ることなくタブレットの導入を検討したく、幡多郡で最も早くタブレット導入をされた宿毛市議会事務局を訪問し、視察研修を開催していただいた。

タブレット端末は膨大な情報を入れておけるため、かさばる資料整理の解消や、検索機能が優れているので、関係するさまざまな資料へのアクセスが格段に時間短縮できる。また、誰もが予測しなかった新型コロナウイルス感染症拡大の影響でインターネットを利用したWeb会議等も今後ますます増えてくることが予測されることから、本市においてもタブレット導入は喫緊の課題であると考え、今回の研修にいたった。

実際に運用されている宿毛市では、議会運営において作成する行政文書に多くのコストと製本時間が費やされており、新庁舎移転に向けデジタル化が加速されていた。タブレットを導入することで副次的効果として職員の業務負担削減、労働力・労働時間を他の業務に活用することを可能とすることに伴う働き方改革の実現を目指していた。

宿毛市議会は、平成25年2月の議会運営委員会でタブレット端末等の導入について各会派で検

討することが提案されて以降、試験的に私用のタブレット端末等を本会議場に持ち込むことを許可し、平成26年5月には議場及び委員会室へWi-Fiルーターを設置。その後、議員向けにペーパーレス会議システムのデモンストレーションを実施し、また同時にペーパーレスを推進するため庁内ワーキンググループを立ち上げ議会と執行部がともに導入実施に取り組まれていた。

実際に、令和2年7月にタブレットが納入され、議員及び課長級職員に貸与し、議会や庁議の会議において活用され、その際、紙媒体の印刷を段階的に取りやめ、PDFデータのアップロードで対応しペーパーレス化の推進をしていた。また、令和2年度の当初予算は総事業費472万1,000円を予算化していた。

導入後の効果としては、議案書や予算書等の資料がタブレット端末から閲覧できるため大量の書類を持ち運ぶ必要がなくなり、自宅での保管場所もなくなることで、大量にある資料内からの検索が容易なことや図面や写真等を瞬時に共有でき、資料の印刷業務がなくなることで作成にかかるコスト削減の可能性も期待でき、議会報告会や行政視察等での活用も可能となるなど、さまざまなメリットがある。

本市においても宿毛市同様に早期にタブレット導入につながるようインターネット環境の整備や予算面等の課題を掘り出し、今後ますます加速してタブレット導入に取り組んでいく必要があると再確認できた。

